



平成 20 年 4 月 3 日

各 位

会社名株式会社トーセ

代表者名 代表取締役社長 齋藤 茂

(コード番号 4728 東証・大証第 1 部)

問合せ先 執行役員経営管理本部長 渡辺 康人

(TEL. 075-342-2525)

## 平成 20 年 8 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 10 月 12 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 8 月期中間期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 20 年 8 月期中間単体業績予想数値の修正（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

(単位：百万円)

|                               | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-------------------------------|-------|------|------|-------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)               | 2,730 | 397  | 442  | 243   |
| 今 回 修 正 予 想 (B)               | 2,771 | 584  | 610  | 345   |
| 増 減 額 (B-A)                   | 41    | 187  | 168  | 102   |
| 増 減 率 (%)                     | 1.5   | 47.0 | 38.0 | 42.1  |
| (ご参考)<br>前期実績(平成 19 年 8 月期中間) | 2,798 | 653  | 738  | 200   |

#### 2. 平成 20 年 8 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

(単位：百万円)

|                               | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-------------------------------|-------|------|------|-------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)               | 3,008 | 281  | 344  | 145   |
| 今 回 修 正 予 想 (B)               | 2,950 | 461  | 492  | 227   |
| 増 減 額 (B-A)                   | △57   | 179  | 147  | 81    |
| 増 減 率 (%)                     | △1.9  | 63.8 | 42.8 | 55.9  |
| (ご参考)<br>前期実績(平成 19 年 8 月期中間) | 2,925 | 487  | 569  | 300   |

### 3. 修正の理由

#### (中間単体業績)

国内ゲームソフト市場の拡大や携帯電話コンテンツの需要の伸びが継続するなか、顧客からの当社への開発依頼も高まっております。しかし、それとは裏腹に、近年市場に投入されるゲームソフトの数が増加し、顧客からのゲームソフトに関する要求も高くなってきております。その結果、当社が開発するゲームソフトにおいても企画や開発スケジュールの変更が発生し、中間期までに開発完了を予定していたタイトルの多くに開発完了時期のズレ込みが発生したことで、全体的な開発売上は計画を12%下回る見込みです。

一方で、ゲームソフト、携帯電話コンテンツ及びパチンコ・パチスロのロイヤリティの状況は好調であり、特にゲームソフト開発事業では、予想をはるかに上回る海外向けのタイトルのロイヤリティが計上できたことから、ロイヤリティ売上は計画を64%上回る見込みです。

この結果、売上高はほぼ計画通りとなりますが、ロイヤリティ売上の増収により経常利益及び中間純利益は計画を大幅に上回る見込みです。

#### (中間連結業績)

新規事業に取り組む連結子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにおいては、事業の立ち上げが遅れております。また、昨年4月から事業を開始した株式会社トーセ沖縄においては、着実に開発人員の増強が進んではいるものの、事業の立ち上がりよりも人員拡大に伴う教育などの経費負担が先行しております。

この結果、売上高は計画を下回る見込みです。

### 4. その他

平成20年8月（平成19年9月1日～平成20年8月31日）の通期業績予想（連結及び単体）につきましては、平成19年10月12日に発表いたしました予想数値から変更はありません。

ゲームソフト開発事業とモバイル・インターネット開発事業における、中間期までに開発完了を予定していたタイトルに関しては、概ね下期に開発完了する見込みです。

しかし、ゲームソフト開発事業におけるロイヤリティは、中間期までに計上されるロイヤリティ売上は計画を大幅に上回っておりますが、下期での計上を計画していたタイトルのうち数タイトルが中間期までに計上できたことや、開発のズレにより計上が来期となるタイトルが発生すると予想しており、下期のロイヤリティは計画を下回る見込みです。

一方で、連結子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズや株式会社トーセ沖縄においては、中間期までは事業の立ち上げに遅れが生じるものの、下期には事業の進展が見込まれます。

また、東星軟件（上海）有限公司においては、オリジナルのオンラインゲームの課金サービスの開始を予定しており、今後課金収益が得られる見込みです。

※なお、本資料に記述されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクおよび不確実性を包含しております。実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上